

抗悪性腫瘍剤 化学療法レジメン(治療内容)一覧

津田沼中央総合病院

2021.9.1更新

文書番号 薬剤-0005

適応疾患名	療法	薬剤 1日投与量・方法	投与時間	投与日	投与ルート	投与間隔、総コース	主な副作用	適応
肺癌		ゲフィチニブ単剤 Gefitinib 250mg/body/日 ※1日1回250mg経口		連日	経口	毒性が許容され、抗腫瘍効果があるが ざり連日投与	間質性肺炎(まれ) 骨髄抑制、下痢、悪心・嘔吐、倦怠感、 皮膚障害、肝障害、眼障害	1: EGFR遺伝子変異陽性の手術不能非小細胞肺癌 ※PS: 0~2ではgefitinibまたは細胞毒性抗癌剤(グレードA) ※PS: 0~2ではgefitinibまたは細胞毒性抗癌剤(グレードA) PS: 3~4ではgefitinib(グレードB)推奨 2: 再発非小細胞肺癌
		エルロチニブ単剤 Erlotinib 150mg/body/日 ※1日1回150mg経口		連日	経口	病状進行まで連日経口投与	間質性肺炎(まれ) 骨髄抑制、下痢、悪心・嘔吐、倦怠感、 皮膚障害、肝障害、眼障害	1: 手術不能な再発進行性で、化学療法施行後に増悪した 非小細胞肺癌
		UFT療法 UFT 250mg/m ² 分2~3		連日	経口		骨髄抑制、悪心・嘔吐、食欲不振、 下痢、口内炎、色素沈着、間質性肺炎、 肝障害	1. 非小細胞肺癌(術後補助化学療法)
		UFT療法 UFT 250mg/m ² 分2~3 ※用量は四捨五入で100mg毎に 増減可能性あり		連日	経口	2年以上 連日経口投与	骨髄抑制、悪心・嘔吐、食欲不振、 下痢、口内炎、色素沈着、間質性肺炎、 肝障害	1. 非小細胞肺癌(術後補助化学療法)
		CP療法 PTX 200mg/m ² カルボプラチン AUC6 ※6mg × (GER(Crで代用)+25]		DAY1 DAY1	点滴静注 DIV 点滴静注 DIV	1コース21日間 総コース: 最大6コース	骨髄抑制、悪心・嘔吐、食欲不振、全身倦 怠感、口内炎、脱毛、関節・筋肉痛、痺 れ、聴力低下、間質性肺炎、肝障害、腎 障害	非小細胞肺癌
		肺ベムプロリスマブ単剤 ベムプロリスマブ 1回 200mg	30分	DAY1	点滴静注DIV	3週に1回投与	骨髄抑制、インフュージョンリアクション、 甲状腺機能障害、間質性肺炎、1型糖尿	PDL1 ≥ 50%の進行転移非小細胞肺癌
	肺ドセタキセル単剤 DTX60mg/m ² /日	60分	DAY1	点滴静注DIV	3週毎	骨髄抑制、悪心・嘔吐、食欲不振、下痢、全 身倦怠感、脱毛、関節・筋肉痛、しびれ、 口内炎、浮腫	PDL1 < 50%のPS2進行転移非小細胞肺癌	

胃癌							
S-1+CDDP CDDP 60mg/m ² /日 TS-1(体表面積計算) 1日2回 (1.25㎡未満 40mg/回 1.25㎡-1.5㎡未満 50mg/回 1.5㎡以上 60mg/回)	2時間以上	DAY8 DAY1-21	点滴静注DIV 経口	1コース35日 3週投与2週休薬	骨髄抑制、過敏症・ショック、悪心嘔吐、食欲不振、発疹、下痢、全身倦怠感、口内炎、色素沈着、流涙、腎障害、聴力低下	経口可能な場合。	
S-1単剤 TS-1(体表面積計算) 1日2回 (1.25㎡未満 40mg/回 1.25㎡-1.5㎡未満 50mg/回 1.5㎡以上 60mg/回)		DAY1-28	経口	1コース42日 4週投与2週休薬	骨髄抑制、悪心嘔吐、食欲不振、発疹、下痢、全身倦怠感、口内炎、色素沈着、流涙	経口可能な場合。	
1週毎 パクリタキセル単剤 PTX 80mg/m ² /日	1時間かけて	DAY1、8、15	点滴静注DIV	1コース28日 3週投与1週休薬	骨髄抑制、悪心嘔吐、食欲不振、全身倦怠感、下痢、関節痛・筋肉痛、しびれ、脱毛、浮腫	可能な限り継続	
FP CDDP 100mg/m ² /日 5-FU 800mg/m ² /日	120分で 5日持続	DAY1 DAY1-5	点滴静注DIV 点滴静注DIV	投与期間は1コース28日として 術後補助は最大6コース行う	骨髄抑制、悪心嘔吐、口内炎、食道炎、下痢、腎機能障害(CDDP)	経口不可の場合	
胃ドセタキセル単剤 DTX60mg/m ² /日	1時間	DAY1	点滴静注DIV	3~4週毎	骨髄抑制、悪心嘔吐、食欲不振、下痢、全身倦怠感、脱毛、関節・筋肉痛、しびれ、口内炎、浮腫	進行、再発	
SOX療法 L-OHP 100mg/m ² /日 TS-1(対表面積計算) 1日2回 (1.25㎡未満 40mg/回 1.25㎡-1.5㎡未満 50mg/回 1.5㎡以上 60mg/回)	2時間かけて	DAY1 DAY1-14(1夕~15朝)	点滴静注DIV 経口	1コース21日 2週投与1週休薬	骨髄抑制、食欲不振、悪心嘔吐、下痢、発疹、全身倦怠感、口内炎、色素沈着、流涙、末梢神経障害	切除不能・進行再発胃癌	
胃CapeOX療法 L-OHP 130mg/m ² /d カベジタキセル(体表面積計算)	120分かけて	DAY1 DAY1-14(1夕~15朝)	点滴静注DIV 経口	2週投与1週休薬 1コース21日	骨髄抑制、悪心嘔吐、食欲不振、下痢、末梢神経障害、手足症候群	術後補助化学療法:8コースまで	
胃RAM+PTX療法 RAM 8mg/kg/日 PTX 80mg/m ² /日	1時間かけて 1時間かけて	DAY1、15 DAY1、8、15	点滴静注DIV	3週投与1週休薬 1コース28日	骨髄抑制、悪心嘔吐、食欲不振、下痢、便秘、全身倦怠感、脱毛、関節・筋肉痛、末梢神経障害、口内炎、インフルエンザウイルス感染、出血、高血圧、浮腫、尿蛋白	切除不能・進行再発胃癌(セカンドライン)	

胃 Cape+CDDP+HER療法 Her 初回 8mg/kg Her 2回目～ 6mg/kg CDDP 80mg/m ² /回 カペシチン 1000mg/m ² /回(体表面積計算)	HER初回90分 2回目以降30分まで短縮可 CDDP 120分 Cape 1日2回	DAY1 DAY1 DAY1 夕～DAY15 朝	点滴静注DIV 点滴静注DIV 経口	2週投与1週休薬	骨髄抑制、悪心嘔吐、食欲不振、下痢、全身倦怠感、手足症候群、脱毛、色素沈着、関節・筋肉痛、しびれ、口内炎、浮腫、心機能障害、腎機能障害 インフュージョンリアクション	HER2陽性 胃癌 切除不能進行再発1次治療 PDまで継続
胃イリノテカン単剤 CPT-11 150mg/m ² /日	90分	DAY1	点滴静注DIV	2週毎	骨髄抑制、食欲不振、悪心嘔吐、便秘、下痢、脱毛、口内炎、色素沈着、全身倦怠感	手術不能又は再発
胃RAM+nab-PTX療法 RAM 8mg/kg/日 nab-PTX 100mg/m ² /日	1時間かけて 30分かけて	DAY1、15 DAY1、8、15	点滴静注DIV	3週投与1週休薬 1コース28日	骨髄抑制、悪心嘔吐、感染症、食欲不振、下痢、便秘、全身倦怠感、脱毛、関節・筋肉痛、末梢神経障害、口内炎、インフュージョンリアクション、出血、高血圧、浮腫、尿蛋白	切除不能・進行再発胃癌(セカンドライン:パクリタキセル使用できない時)
1週毎 アブラキサン単剤 nab-PTX 100mg/m ² /日	30分かけて	DAY1、8、15	点滴静注DIV	1コース28日 3週投与1週休薬	骨髄抑制、感染症、悪心嘔吐、食欲不振、全身倦怠感、下痢、関節痛・筋肉痛、しびれ、脱毛、浮腫	可能な限り(パクリタキセル使用できない時)
ニボルマブ単剤 ニボルマブ 240mg/body/日	30分かけて	DAY1	点滴静注DIV	1コース14日 2週毎	骨髄抑制、インフュージョンリアクション、甲状腺機能障害、間質性肺炎、1型糖尿病、食欲不振、神経障害(しびれ、麻痺など)、腎障害、肝不全、肝機能障害、過度の免疫反応、皮膚障害、脳炎、下垂体機能低下症、副腎障害、下痢・大腸炎、消化管穿孔、静脈血栓塞栓症、	切除不能・進行再発胃癌(サードライン) 減量はないため、投与するかしないかに対応。 PDまで継続
胃ロンサーフ ロンサーフ1日2回 約35mg/m ² /回 添付文書に基づく	1日2回	DAY1-5・DAY8-12	経口	DAY6・7 13-28 休薬 1コース28日	下痢、悪心、嘔吐、食欲減退 口内炎、腹痛、便秘、発熱、無力症、血中ビリルビン増加、味覚異常、脱毛症	切除不能 進行再発胃癌(第3次治療以降)
胃ベムプロリスマブ単剤 ベムプロリスマブ 1回 200mg	30分	DAY1	点滴静注DIV	3週に1回投与	骨髄抑制、インフュージョンリアクション、甲状腺機能障害、間質性肺炎、1型糖尿	がん化学療法後に増悪した進行・再発のMSI-Highを有する固形がん
胃術後補助S-1+ドセタキセル療法 DTX 2-7コース 40mg/m ² /日 TS-1(対表面積計算) 1日2回 1-7コース 1.25m ² 未満 40mg/回 8コース～ 1.25m ² -1.5m ² 未満 50mg/回 1.5m ² 以上 60mg/回	1時間 1日2回	DAY1 day1-14 day1-28	点滴静注DIV 経口	2-7コース 3週毎 1-7コース 2週内服 1週休薬 8コース～ 4週内服 2週休薬	骨髄抑制、悪心嘔吐、食欲不振、下痢、全身倦怠感、脱毛、関節・筋肉痛、しびれ、口内炎、浮腫、発疹、色素沈着、流涙、肝障害	StageIII 術後補助化学療法: 1年まで

食道癌	食道 FP CDDP 80mg/m ² /日 5-FU 800mg/m ² /日	120分で 5日持続	DAY1 DAY1-5	点滴静注DIV 点滴静注DIV	投与期間は1コース28日(21日)と して最大6コース行う	骨髄抑制、食欲不振、悪心嘔吐、疲労 感、口内炎、下痢、発疹、色素沈着、聴力 低下、腎機能障害(CDDP)	
	食道 1週毎パクリタキセル単剤(weekly PTX) PTX 100mg/m ² /日	1時間かけて	DAY1,8,15,22,29,36	点滴静注DIV	1コース49日 1週毎投与を6回くり返し、2週間休薬	骨髄抑制、悪心嘔吐、食欲不振、下痢、 全身倦怠感、脱毛、関節・筋肉痛、 しびれ、口内炎、浮腫	
肝細胞癌	ミリプラチン肝動注 ミリプラチン 70mg/V(懸濁液3.5mLで調整) ※上限を1回6mL(ミリプラチンとして120mg) とする。	腫瘍血管に懸濁液が充滿したら	1日1回	カテーテルより (DEHPフリー)	1日1回 繰り返し投与する時は4週間以上の 観察期間をおく	骨髄抑制、悪心嘔吐、(貧血) 肝機能障害、発熱	肝細胞癌におけるリビオドリゼーション
	エビルピシン肝動注 エビルピシン 60mg/m ² まで	腫瘍血管に懸濁液が充滿したら	1日1回	カテーテルより (DEHPフリー)	1日1回 繰り返し投与する時は4週間以上の 観察期間をおく	骨髄抑制、悪心嘔吐、(貧血) 肝機能障害、発熱	肝細胞癌におけるリビオドリゼーション
肺癌	S-1単剤 TS-1(体表面積計算) 1日2回 (1.25m ² 未満 40mg/回 1.25m ² -1.5m ² 未満 50mg/回 1.5m ² 以上 60mg/回)		DAY1-28	経口	1コース42日 4週投与2週休薬	骨髄抑制、悪心嘔吐、食欲不振、発疹、 下痢、全身倦怠感、口内炎、色素沈着、 流涙	TS-1は体表面積あたり投与量/回異なる。
	GEM単剤 GEM 1000mg/m ² /day	30分かけて	DAY1, 8, 15	点滴静注DIV	週1回投与を3週連続し、4週目休 薬を1コースとして投与を行う 1コース28日	骨髄抑制、悪心嘔吐	
	S-1+GEM GEM 1000mg/m ² /日 TS-1(体表面積計算) 1日2回 (1.25m ² 未満 30mg/回 1.25m ² -1.5m ² 未満 40mg/回 1.5m ² 以上 50mg/回)	30分かけて	DAY1, 8 DAY1-14	点滴静注DIV 経口	週1回投与を2週連続し、3週目休 薬を1コースとして投与を行う 1コース21日	骨髄抑制、悪心嘔吐、食欲不振、発疹、 下痢、全身倦怠感、口内炎、色素沈着、 流涙	TS-1は体表面積あたり投与量/回異なる。
	FOLFIRINOX L-OHP 85mg/m ² /日 CPT-11 180mg/m ² /日 I-LV 200mg/m ² /日 5-FU 400mg/m ² /日 5-FU 2400mg/m ² /日	2時間かけて 90分かけて 2時間かけて 急速 46時間かけて	DAY1 DAY1 DAY1 DAY1 DAY1-3	点滴静注DIV	1コース14日	骨髄抑制、発熱性好中球減少症、 末梢神経障害、悪心嘔吐、下痢	治癒切除不能な肺癌
	nab-PTX+GEM nab-PTX 125mg/m ² /日 GEM 1000mg/m ² /日	30分かけて 30分かけて	DAY1, 8, 15 DAY1, 8, 15	点滴静注DIV	1コース28日	骨髄抑制、末梢神経障害、間質性肺炎 黄斑浮腫、悪心嘔吐	治癒切除不能な肺癌

胆道癌	S-1単剤 TS-1(体表面積計算) 1日2回 (1.25㎡未満 40mg/回 1.25㎡-1.5㎡未満 50mg/回 1.5㎡以上 60mg/回)		DAY1-28	経口	1コース42日 4週投与2週休薬	骨髄抑制、悪心嘔吐、食欲不振、発疹、 下痢、全身倦怠感、口内炎、色素沈着、 流涙	TS-1は体表面積あたり投与量/回異なる。
	GEM単剤 GEM 1000mg/m ² /d	30分かけて	DAY1、8、15	点滴静注DIV	週1回投与を3週連続し、4週目休 薬を1コースとして投与を行う 1コース28日	骨髄抑制、悪心嘔吐	
	GC療法 CDDP 25mg/m ² /日 GEM 1000mg/m ² /日	60分かけて 30分かけて	DAY1、8 DAY1、8	点滴静注DIV	1コース21日	骨髄抑制、悪心嘔吐、下痢 脱毛、聴力低下、腎機能障害	
	GS療法(S-1+GEM) GEM 1000mg/m ² /日 TS-1(体表面積計算) 1日2回 (1.25㎡未満 30mg/回 1.25㎡-1.5㎡未満 40mg/回 1.5㎡以上 50mg/回)	30分かけて	DAY1、8 DAY1-14	点滴静注DIV 経口	週1回投与を2週連続し、3週目休 薬を1コースとして投与を行う 1コース21日	骨髄抑制、悪心嘔吐、食欲不振、発疹、 下痢、全身倦怠感、口内炎、色素沈着、 流涙	TS-1は体表面積あたり投与量/回異なる。

大腸癌	CapeOX±BV BV 7.5mg/kg L-OHP 130mg/m ² /d カベシタピンC法:1,000mg/m ²	※1 120分かけて	DAY1 DAY1 DAY1-14(1夕~15朝)	点滴静注DIV 点滴静注DIV 経口	1コース21日	骨髄抑制、悪心嘔吐、食欲不振、下痢、手足症候群、色素沈着、全身倦怠感、口内炎、末梢神経障害、高血圧、アナフィラキシー	※1 ベバシズマブ 初回90分2回目を以降60分3回目を以降30分でも可 1st、2ndライン mFOLFOX+BVと同等の効果 ポートの埋め込み不要 術後補助XELOX8コース
	CapelRI±BV BV 7.5mg/kg CPT-11 150mg/m ² /d カベシタピンC法:1,000mg/m ²	※1 90分かけて	DAY1 DAY1 DAY1-14(1夕~15朝)	点滴静注DIV 点滴静注DIV 経口	1コース21日	骨髄抑制、食欲不振、悪心嘔吐、便秘、下痢、脱毛、口内炎、手足症候群、色素沈着、全身倦怠感、高血圧、アナフィラキシー	※1 ベバシズマブ 初回90分2回目を以降60分3回目を以降30分でも可 1st、2ndライン FOLFIRI+BVと同等の効果 ポートの埋め込み不要
	パニツムマブ療法 パニツムマブ 6mg/kg	1時間以上	DAY1	点滴静注DIV	2週に1回投与	インフュージョンリアクション、皮膚障害、口内炎、間質性肺炎	3rdラインKRAS遺伝子野生型切除不能な進行・再発癌
	カベシタピン単剤療法(※2) カベシタピン(体表面積計算) B法 1日2回 (1.33m ² 未満 1500mg/回 1.33m ² -1.57m ² 未満 1800mg/回 1.57m ² -1.81m ² 未満 2100mg/回 1.81m ² 以上 2400mg/回)		DAY1-14	経口	2週投与1週休薬 1コース21日	骨髄抑制、悪心嘔吐、食欲不振、下痢、疲労感、手足症候群、口内炎、色素沈着	※2 投与量は適応によりA~C法に分かれる。 結腸癌術後補助療法はB法を用いる。
	カベシタピン単剤療法(※2) カベシタピン(体表面積計算) C法 1日2回 (1.36m ² 未満 1200mg/回 1.36m ² -1.66m ² 未満 1500mg/回 1.66m ² -1.96m ² 未満 1800mg/回 1.96m ² 以上 2100mg/回)		DAY1-14	経口	2週投与1週休薬 1コース21日	骨髄抑制、悪心嘔吐、食欲不振、下痢、疲労感、手足症候群、口内炎、色素沈着	※2 投与量は適応によりA~C法に分かれる。 治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌には他の抗悪性腫瘍剤との併用でC法を用いる。
	UFT-LV療法 UFT(体表面積計算) 1日3回 (1.17m ² 未満 300mg/日 1.17m ² -1.50m ² 未満 400mg/日 1.50m ² -1.83m ² 以下 500mg/日 1.83m ² を超える 600mg/日) LV 1日3回 25mg/回		DAY1-28 1日3回食事の前後1時間を避けて 約8時間毎に服用 DAY1-28	経口 経口	4週投与1週休薬 1コース35日	骨髄抑制、悪心嘔吐、食欲不振、下痢 口内炎、色素沈着	経口可能な場合
	カベシタピン単剤放射線併用化学療法 カベシタピン 1日2回 825mg/m ² /回 放射線照射 45Gy (5日/週x5週) その間 825mg/m ² のカベシタピンを1日2回経口投与	1日2回	放射線照射中	経口	総コース数:1	骨髄抑制、悪心嘔吐、食欲不振、下痢、疲労感、手足症候群、口内炎、色素沈着	下部直腸癌
	レゴラフェニブ レゴラフェニブ 1日1回 160mg		DAY1-21	経口	3週投与1週休薬 1コース28日	骨髄抑制、食欲不振、下痢、発疹、手足症候群、	切除不能 進行再発大腸癌
	ロンサーフ ロンサーフ1日2回 約35mg/m ² /回 添付文書に基づく	1日2回	DAY1-5・DAY8-12	経口	DAY6・7 13-28 休薬 1コース28日	下痢、悪心、嘔吐、食欲減退 口内炎、腹痛、便秘、発熱、無力症、血中ビリルビン増加、味覚異常、脱毛症	切除不能 進行再発直腸・結腸癌
	ベムプロリスマブ単剤 ベムプロリスマブ 1回 200mg	30分	DAY1	点滴静注DIV	3週に1回投与	骨髄抑制、インフュージョンリアクション、甲状腺機能障害、間質性肺炎、1型糖尿	がん化学療法後に増悪した進行・再発のMSI-Highを有する固形がん
Cet+IRI療法 セツキシマブ 初回400mg/m ² 以降250mg/m ² CPT-11 150mg/m ²	120分 60分 90分かけて	DAY1・8・15 DAY1	点滴静注DIV 点滴静注DIV	1コース21日間 (CetはDAY1・8・15)	インフュージョンリアクション、皮膚障害、口内炎、間質性肺炎、骨髄抑制、食欲不振、悪心嘔吐、便秘、下痢、脱毛、口内炎、色素沈着、全身倦怠感	KRAS遺伝子野生型の切除不能な進行・再発の直腸結腸癌	
肛門癌	カベシタピン+マイトマイシン放射線併用化学療法 カベシタピン 1日2回 825mg/m ² /回 放射線照射 Gy (5日/週x5.5週) その間 825mg/m ² のカベシタピンを1日2回経口投与	1日2回	放射線照射中	経口	1コース 5.5週間(約40日間)	骨髄抑制、悪心嘔吐、食欲不振、下痢、疲労感、手足症候群、口内炎、脱毛、色素沈着、腎障害、肝障害	肛門がん
	マイトマイシン 10mg/m²	全開静注	day1・29(day29はオプション)	静注	day1・29(day29はオプション)		

乳癌							
1週毎ハーセプチン単剤 Her 初回 4mg/kg 2回目～ 2mg/kg	90分以上 (30分まで短縮可)	DAY1 Weekly	点滴静注DIV	1週に1回投与	心機能障害、インフュージョンリアクション	Her2受容体過剰発現が確認された乳癌 (A法)	
3週毎ハーセプチン単剤 Her 初回 8mg/kg 2回目～ 6mg/kg	90分以上 (30分まで短縮可)	DAY1 3週毎	点滴静注DIV	3週に1回投与	心機能障害、インフュージョンリアクション	Her2受容体過剰発現が確認された乳癌 (B法)	
FEC100療法 EPI 100mg/m ² /日 CPA 500mg/m ² /日 5-FU 500mg/m ² /日	全開で投与 30分かけて 全開で投与	DAY1 DAY1 DAY1	点滴静注DIV 点滴静注DIV 点滴静注DIV	3週に1回投与 術後補助は6コース	骨髄抑制、悪心嘔吐、食欲不振、下痢、 発疹、口内炎、脱毛、全身倦怠感、 出血性膀胱炎、心障害(EPI) 腎障害(CPA)		
カヘシドリン単剤A療法(※3) カヘシドリン 1日2回 (体表面積計算)A法 (1.31㎡未満 900mg/回) (1.31㎡～1.64㎡未満 1200mg/回) (1.64㎡以上 1500mg/回)		DAY1-21	経口	3週投与1週休業 1コース28日	骨髄抑制、悪心嘔吐、食欲不振、下痢、 疲労感、手足症候群、口内炎、色素沈着	※3 ゼローダは適応によりA～C法に分かれる。 発乳がんはAまたはB法(大腸がんの項参照)を用いる	再
カヘシドリン単剤B療法(※3) カヘシドリン 1日2回 (体表面積計算)B法 (1.31㎡未満 1500mg/回) (1.31㎡～1.57㎡未満 1800mg/回) (1.57㎡～1.81㎡未満 2100mg/回) (1.81㎡以上 2400mg/回)		DAY1-14	経口	2週投与1週休業 1コース21日	骨髄抑制、悪心嘔吐、食欲不振、下痢、 疲労感、手足症候群、口内炎、色素沈着	※3 ゼローダは適応によりA～C法に分かれる。 発乳がんはAまたはB法(大腸がんの項参照)を用いる	再
S-1療法 TS-1(体表面積計算) (1.25㎡未満 40mg/回) (1.25㎡～1.5㎡未満 50mg/回) (1.5㎡以上 60mg/回)		DAY1-28	経口	1コース42日 4週投与2週休業	骨髄抑制、悪心嘔吐、食欲不振、発疹、 下痢、全身倦怠感、口内炎、色素沈着、 流涙		
1週毎パクリタキセル単剤 PTX 80mg/m ² /日	1時間かけて	DAY1、8、15……	点滴静注DIV	1コース7日 1週毎投与	骨髄抑制、悪心嘔吐、食欲不振、下痢、 全身倦怠感、脱毛、関節・筋肉痛、 しびれ、口内炎、浮腫	可能な限り ※術後補助パクリタキセルは12コースまで	
1週毎ハーセプチン+パクリタキセル Her 初回 4mg/kg Her 2回目～ 2mg/kg PTX 80mg/m ² /回	90分以上 (30分まで短縮可) 1時間かけて	DAY1 Weekly	点滴静注DIV	1週に1回投与	骨髄抑制、悪心嘔吐、食欲不振、下痢、 全身倦怠感、脱毛、関節・筋肉痛、 しびれ、口内炎、浮腫、心機能障害、 インフュージョンリアクション	術後 Her2受容体過剰発現が確認された乳癌 ※パクリタキセルは12コースまで	
BV+PTX療法 PTX 90mg/m ² /回 BV 10mg/kg/回	1時間かけて ※1	DAY1,8,15 DAY1,15	点滴静注DIV	3週投与1週休業 1コース28日	骨髄抑制、悪心嘔吐、食欲不振、下痢、 全身倦怠感、脱毛、関節・筋肉痛、しび れ、口内炎、浮腫、高血圧、	切除不能・進行再発(PDまで) ※1 アバスチン 初回90分 2回目を以降60分 3回目を以降30分まで短縮可	
PER+HER+DTX療法 PER 初回840mg/body 2回目を以降420mg/body HER 初回8mg/kg 2回目を以降6mg/kg DTX 75mg/m ²	初回60分 2回目を以降30分可 初回90分 2回目を以降30分可 60分	DAY1 DAY1 DAY1	点滴静注DIV 点滴静注DIV 点滴静注DIV	3週に1回投与	骨髄抑制、悪心嘔吐、食欲不振、下痢、 全身倦怠感、脱毛、関節・筋肉痛、 しびれ、口内炎、浮腫、心機能障害、 インフュージョンリアクション	術前・術後・進行再発 HER2陽性乳癌	

T-DM1療法 T-DM1 3.6mg/kg	初回90分 2回目以降30分可	DAY1	点滴静注DIV	3週に1回投与 進行再発はPDまで(最大10コース)	心機能障害、インフュージョンリアクション 血小板減少、肝機能障害、肺障害、末梢神経障害	転移再発 HER2陽性乳癌 2次治療以降
EC療法 EPI 90mg/m ² CPA 600mg/m ²	60分かけて 30分かけて	DAY1 DAY1	点滴静注DIV 点滴静注DIV	術前・術後補助は4サイクル 1コース21日	骨髄抑制、悪心嘔吐、食欲不振、下痢、 発疹、口内炎、脱毛、全身倦怠感、 出血性膀胱炎、心障害(EPI)	
PTX+HER+PER療法 PER 初回840mg/body 2回目以降420mg/body HER 初回8mg/kg 2回目以降6mg/kg PTX 80mg/m ²	初回60分 2回目以降30分可 初回90分 2回目以降30分可 60分	DAY1 DAY1 DAY1.8.15	点滴静注DIV 点滴静注DIV 点滴静注DIV	3週に1回投与 周術期 4コース 進行再発 PDまで	骨髄抑制、悪心嘔吐、食欲不振、下痢、 全身倦怠感、脱毛、関節・筋肉痛、 しびれ、口内炎、浮腫、心機能障害、 インフュージョンリアクション	術前・術後・進行再発 HER2陽性乳癌
アベマシクリブ療法 アベマシクリブ 1日2回 150mg/回		連日内服	経口	連日内服	下痢、腹痛、骨髄抑制、悪心嘔吐、食欲不振 易疲労感、脱毛	ホルモンレセプター陽性、HER2陰性の転移再発乳癌
アテゾリズマブ+nabPTX療法 アテゾリズマブ 840mg/body nabPTX 100mg/m ²	30分 30分	DAY1.15 DAY1.8.15	点滴静注DIV 点滴静注DIV	1コース28日間	骨髄抑制、悪心嘔吐、食欲不振、下痢、全身 倦怠感、脱毛、関節・筋肉痛、末梢神経障 害、口内炎、浮腫、インフュージョンリアクシ ョン、甲状腺機能障害、肝・腎・心・肺障害、血	ホルモンレセプター陰性、HER2陰性(トリプルネガティブ) の手術不能・再発乳癌
乳エベロリムス療法 エベロリムス 1日1回10mg経口投与 内分泌療法剤との併用		連日内服	経口	連日内服	食欲不振、高コレステロール血症、味覚異 常、咳嗽、下痢、悪心、口内炎、発疹、倦怠感	
乳nabPTX単剤療法 nabPTX 260mg/m ²	30分	DAY1	点滴静注DIV	1コース21日間	骨髄抑制、悪心嘔吐、食欲不振、下痢、 全身倦怠感、脱毛、関節・筋肉痛、 しびれ、口内炎、浮腫	
乳エリブリン単剤療法 エリブリンメシル酸塩 1.4mg/m ²	2-5分	DAY1.8	静注	1コース21日間	悪心嘔吐、食欲不振、下痢、便秘、倦怠感、 関節・筋肉痛、口腔咽頭痛、頭痛、味覚障 害、口内炎、浮腫、発熱、肝・腎障害、脱毛、 発疹、尿蛋白	手術不能又は再発乳がん アントラサイクリン系およびタキサン系抗悪性腫瘍剤を含む 化学療法を施行後の増悪若しくは再発例が対象
バルボシクリブ療法 バルボシクリブ 1日1回 125mg/回		3週間内服後1週休薬	経口	1コース28日間	下痢、腹痛、骨髄抑制、悪心嘔吐、食欲不振 易疲労感、脱毛	ホルモンレセプター陽性、HER2陰性の転移再発乳癌

腎盂癌 膀胱癌	GC GEM 1000mg/m ² /日 (※4 CDDP 70mg/m ² /日)	30分かけて 2時間以上	DAY1、8、15 DAY2	点滴静注DIV	3週投与1週休業 1コース28日	間質性肺炎、骨髄抑制、悪心嘔吐、 腎障害、聴覚障害	※4 cCr(60ml/min) ≥ の場合はCDDPをCBDCAに変更
	BCG膀胱内注入 BCG 80mg/body	原則 膀胱内 2時間保持	DAY1	膀胱内注入	週1回 8週間繰り返し	発熱、播種性BCG感染、間質性肺炎、 委縮膀胱	
	UFT単剤 UFT 300-600mg/body/日 1日2-3回に分経口投与		連日		連日投与	間質性肺炎、肝機能障害、骨髄抑制、 悪心嘔吐、腎障害、下痢	
	尿路上皮ベムプロリスマブ単剤 ベムプロリスマブ 1回 200mg	30分	DAY1	点滴静注DIV	3週に1回投与	骨髄抑制、インフュージョンリアクション、 甲状腺機能障害、間質性肺炎、1型糖尿	プラチナ製剤併用化学療法後に再発又は進行した局所進行性又は 転移性の尿路上皮癌
前立腺癌	DTX+PSL DTX 75mg/m ² /日 PSL(+デキサメタゾン) 10mg(+8mg)	1時間かけて	DAY1 DAY1-21(+DAY1)	点滴静注DIV 終口(点滴DIV)	3週に1回投与	骨髄抑制、悪心・嘔吐、倦怠感、脱毛、末 梢神経障害	アンドロゲン非依存性前立腺癌
	UFT単剤 UFT 300-600mg/body/日 1日2-3回に分経口投与		連日		連日投与	間質性肺炎、肝機能障害、骨髄抑制、 悪心嘔吐、腎障害、下痢	
精巣腫瘍	BEP療法 ブレオマイシン 30mg/body/日 エトポシド 100mg/m ² /日 CDDP 20mg/m ² /日	30分かけて 60分かけて 120分かけて	DAY1、8、15 DAY1-5 DAY1-5	点滴静注DIV	1コース21日間 総コース:低リスクは3コース 総コース:中等度以上は4コース	間質性肺炎、呼吸器障害、腎機能障害、 骨髄抑制、悪心・嘔吐、神経障害、脱毛、 肝機能障害、聴覚障害	肺障害が見られる場合はブレオマイシンは中止

悪性リンパ腫							
R(リツキシマブ)±CHOP シクロホスファミド注 750mg/m ² /日 ドキシロピジン注 50mg/m ² /日 ビンクリスチン注 1.4mg/m ² /日 リツキシマブ注 375mg/m ² /日 ブレドニオン錠 60mg/m ² /日	15分 全開 15分 添文による 内服分2	DAY1 DAY1 DAY1 DAY1 DAY1-5	点滴静注DIV 点滴静注DIV 点滴静注DIV 点滴静注DIV 経口	投与期間は3週間を1クールとして、6-8コース行う	インフュージョンリアクション、 骨髄抑制、悪心・嘔吐、脱毛、 口内炎、末梢神経障害、排尿困難、 便秘、腎障害(CPA)	CD20陽性(Rありの場合)B細胞性非ホジキンリンパ腫	
リンパ腫リツキシマブ単剤 リツキシマブ注 375mg/m ² /日		DAY1	点滴静注DIV	週1回 最大投与回数は12回	インフュージョンリアクション、 骨髄抑制、心・肺・肝・腎障害	CD20陽性B細胞性非ホジキンリンパ腫	
R(リツキシマブ)-ベンダムスチン療法 トレアキシン注 90mg/m ² /日 リツキシマブ注 375mg/m ² /日	60分 添文による	DAY1-2 DAY1	点滴静注DIV 点滴静注DIV	投与期間は4週間を1クールとして、4-8コース行う	インフュージョンリアクション、 骨髄抑制、悪心・嘔吐、便秘、下痢 口内炎、肝機能異常、鼻咽頭炎、 味覚異常、頭痛、不眠、クレアチニン上昇 発疹、注射部位反応、	CD20陽性低悪性度B細胞性リンパ腫	
リンパ腫ベンダムスチン単剤療法 トレアキシン注 120mg/m ² /日	60分	DAY1-2	点滴静注DIV	投与期間は3週間を1クールとして、4-8コース行う	骨髄抑制、悪心・嘔吐、便秘、下痢 口内炎、肝機能異常、鼻咽頭炎、 味覚異常、頭痛、不眠、クレアチニン上昇 発疹、注射部位反応、	低悪性度B細胞性リンパ腫、マントル細胞リンパ腫	
リンパ腫内服エトポシド単剤療法 ラステットSカプセル 50mg/body	内服分1 朝食後	DAY1-21	経口	3週投与1(〜2)週休業 1コース28日(〜35日)	骨髄抑制、悪心・嘔吐、便秘、下痢、 脱毛、食欲不振、倦怠感、口内炎、発疹 間質性肺炎、肝・腎機能障害	悪性リンパ腫	
ICE療法 イホマイド注1.67g/m ² /日 カルボプラチン注 目標AUC:5(カルバート式) Dose(mg)=AUC×(GFR+25)※GFR上限:125mL/min ラステット注 100mg/m ² /日 ウロミテキサン注1.67g/m ² /日(イホマイドと同量) イホマイドと同時投与、4時間後、8時間後の3分割	3時間 1時間 1時間	DAY1-3 DAY1 DAY1-3 DAY1-3	点滴静注DIV 点滴静注DIV 点滴静注DIV	投与期間は3週間を1クールとして、6コース	骨髄抑制、悪心・嘔吐、食欲不振、便秘、 下痢、脱毛、倦怠感、発熱、口内炎、 肝・腎機能障害、間質性肺炎、排尿障害、 出血性膀胱炎、アナフィラキシー	再発・難治性非ホジキン悪性リンパ腫	
R-ICE療法 リツキシマブ注 375mg/m ² /日 イホマイド注1.67g/m ² /日 カルボプラチン注 目標AUC:5(カルバート式) Dose(mg)=AUC×(GFR+25)※GFR上限:125mL/min ラステット注 100mg/m ² /日 ウロミテキサン注 1.67g/m ² /日(イホマイドと同量) イホマイドと同時投与、4時間後、8時間後の3分割	添文による 3時間 1時間	DAY1 DAY2-4 DAY2 DAY2-4 DAY2-4	点滴静注DIV 点滴静注DIV 点滴静注DIV 点滴静注DIV	投与期間は3週間を1クールとして、6コース	インフュージョンリアクション、 心・肺障害・間質性肺炎、 骨髄抑制、悪心・嘔吐、食欲不振、便秘、 下痢、脱毛、倦怠感、発熱、口内炎、 肝・腎機能障害、排尿障害、 出血性膀胱炎、アナフィラキシー	再発・難治性非ホジキン悪性リンパ腫	
GCD(±R)療法 デカドロン注射液33mg/body ゲムシタピン注1000mg/m ² カルボプラチン注 目標AUC:5(カルバート式) Dose(mg)=AUC×(GFR+25)※GFR上限:125mL/min 最大750mgまで リツキシマブ注 375mg/m ² /日	15分 30分 2時間 添文による	DAY1-4 DAY1.8 DAY1 DAY8	点滴静注DIV 点滴静注DIV 点滴静注DIV 点滴静注DIV	投与期間は3週間を1クールとして、6コース	インフュージョンリアクション、 心・肺障害・間質性肺炎、骨髄抑制、 悪心・嘔吐、食欲不振、便秘、下痢、脱毛 倦怠感、発熱、口内炎、肝・腎機能障害、	再発・難治性非ホジキン悪性リンパ腫	
G(オビヌツズマブ)-ベンダムスチン療法 1コース目 トレアキシン注 90mg/m ² /日 オビヌツズマブ注 1000mg/body 水溶性ブレドニオン注 100mg/body	60分 添文による 15分	DAY1-2 DAY1.8,15 DAY1.8,15	点滴静注DIV 点滴静注DIV 点滴静注DIV	投与期間は4週間を1クール1コース目	インフュージョンリアクション、 骨髄抑制、悪心・嘔吐、便秘、下痢 口内炎、肝機能異常、鼻咽頭炎、 味覚異常、頭痛、不眠、クレアチニン上昇 発疹、注射部位反応、	CD20陽性濾胞性リンパ腫	
G(オビヌツズマブ)-ベンダムスチン療法 2-6コース目 トレアキシン注 90mg/m ² /日 オビヌツズマブ注 1000mg/body 水溶性ブレドニオン注 100mg/body	60分 添文による 15分	DAY1-2 DAY1 DAY1	点滴静注DIV 点滴静注DIV 点滴静注DIV	投与期間は4週間を1クール2-6コース目	インフュージョンリアクション、 骨髄抑制、悪心・嘔吐、便秘、下痢 口内炎、肝機能異常、鼻咽頭炎、 味覚異常、頭痛、不眠、クレアチニン上昇 発疹、注射部位反応、	CD20陽性濾胞性リンパ腫	

多発性骨髄腫							
VAD療法 ビンクリスチン注 0.4mg/body/日 ドキシソリン注 9mg/m ² /日 デキサメタゾン注 33mg/body/日 (ビンクリスチン4日間総投与量2mgを超えない) (ドキシソリン総投与量500mg/m ² 以下)	持続点滴 持続点滴 60分かけて	DAY1-4 DAY1-4 DAY1~4、9~12、17~20	中心静脈カテーテルより 中心静注 TPN 中心静注 TPN 中心静注 TPN	投与期間は3週間を1コースとして、3-4コース行う	骨髄抑制、悪心・嘔吐、脱毛、便秘	多発性骨髄腫	
Bd療法 ボルテゾミブ注 1.3mg/m ² /日 デキサメタゾン錠 20mg/body	緩徐に	DAY1、4、8、11 ペルケイト使用日+翌日併用	点滴注射(皮下も可) 経口	投与期間は3週間を1コース(21日)総8コース	末梢神経障害、骨髄抑制、下痢、発熱、間質性肺炎	多発性骨髄腫	
MP療法 メルファラン錠 (6~) 8 mg/m ² 食前 プレドニゾン錠 (40mg~) 60 mg/m ² 食後		DAY1-4 DAY1-4	経口 経口	投与期間は4週を1コースとする ※最大サイクルは以下の条件にて決定 ①プラトー期に達する ②骨髄腫が増悪 ③重篤な有害事象 ④患者の同意が得られない	骨髄抑制、肺障害、悪心・嘔吐、脱毛	多発性骨髄腫	
LD療法 レナリドミドCap 25mg/body/日 デキサメタゾン錠 40mg/body/日 75歳以上では20mgへ減量		DAY1-21 DAY1、8、15、22	経口 経口	3週間投与後1週間休薬 4週間を1コース(28日)とし、再発・再燃するまで継続する	骨髄抑制、悪心・嘔吐、 血症(肺塞栓、静脈血栓塞栓症)	多発性骨髄腫	
VMP寛解導入療法(週2回) ボルテゾミブ注 1.3mg/m ² /日 メルファラン錠 9mg/m ² /日 食前 プレドニゾン錠 60mg/m ² /日 食後		DAY 1、4、8、11 22、25、29、32 DAY1-4 DAY1-4	皮下投与 経口 経口	投与期間は6週間を1コース(42日)総4コース	末梢神経障害、骨髄抑制、悪心・嘔吐、下痢、発熱、肺障害	多発性骨髄腫	
VMP維持療法(週1回) ボルテゾミブ注 1.3mg/m ² /日 メルファラン錠 9mg/m ² /日 食前 プレドニゾン錠 60mg/m ² /日 食後		DAY 1、8、22、29 DAY1-4 DAY1-4	皮下投与 経口 経口	投与期間は6週間を1コース(42日)治療効果の持続するまで	末梢神経障害、骨髄抑制、悪心・嘔吐、下痢、発熱、肺障害	多発性骨髄腫	

BLd療法 ボルテゾミブ注 1.3mg/m ² /日 レナリドミドCap 25mg/body/日 デキサメタゾン 20mg/body/日		DAY 1, 4, 8, 11 DAY 1-14 DAY 1, 2, 4, 5, 8, 9, 11, 12	皮下投与 経口 経口	投与期間は21日間を1コース 総8コース	末梢神経障害、骨髄抑制、 悪心・嘔吐、下痢、発熱、 肺障害 血栓症(肺塞栓、静脈血栓塞栓症)	多発性骨髄種
BLd-lite療法 寛解導入療法 ≤75歳 ボルテゾミブ注 1.3mg/m ² /日 レナリドミドCap 15mg/body/日 デキサメタゾン 20mg/body/日		DAY 1, 8, 15, 22 DAY 1-21 DAY 1, 2, 8, 9, 15, 16, 22, 23	皮下投与 経口 経口	投与期間は35日間を1コース 総9コース	末梢神経障害、骨髄抑制、 悪心・嘔吐、下痢、発熱、 肺障害 血栓症(肺塞栓、静脈血栓塞栓症)	多発性骨髄種
BLd-lite療法 寛解導入療法 >75歳 ボルテゾミブ注 1.3mg/m ² /日 レナリドミドCap 15mg/body/日 デキサメタゾン 20mg/body/日		DAY 1, 8, 15, 22 DAY 1-21 DAY 1, 8, 15, 22	皮下投与 経口 経口	投与期間は35日間を1コース 総9コース	末梢神経障害、骨髄抑制、 悪心・嘔吐、下痢、発熱、 肺障害 血栓症(肺塞栓、静脈血栓塞栓症)	多発性骨髄種
BLd-lite療法 地固め療法 ボルテゾミブ注 1.3mg/m ² /日 レナリドミドCap 15mg/body/日		DAY 1, 15 DAY 1-21	皮下投与 経口	投与期間は28日間を1コース 総6コース	末梢神経障害、骨髄抑制、 悪心・嘔吐、下痢、発熱、 肺障害	多発性骨髄種
IRD療法 イキサゾミブCap 4mg/body/日 レナリドミドCap 25mg/body/日 デキサメタゾン錠 40mg/body/日		DAY1, 8, 15 DAY1-21 DAY1, 8, 15, 22	経口 経口 経口	3週間投与後1週間休薬 4週間を1コース(28日)とし、再発・ 再燃するまで継続する	骨髄抑制、悪心・嘔吐、 血栓症(肺塞栓、静脈血栓塞栓症) 血 膚障害 末梢神経障害 悪心嘔吐 下痢 便秘	多発性骨髄種
MD療法 メルファロン錠 0.22mg/kg 食前 デカドロン錠 40mg/body 食後		DAY1-4 DAY1-4	経口 経口	投与期間は4週を1コースとする	骨髄抑制、肺障害、悪心・嘔吐、脱毛	多発性骨髄種

白血病	Hydroxy carbamide療法 Hydroxy carbamide 500~2000mg/日 分1~3、適宜増減あり (寛解後維持 500~1000mg、分1~2、適宜増減)		連日	経口	連日経口投与	骨髄抑制、悪心・嘔吐、脱毛、	多発性骨髄腫(慢性骨髄性白血病、真性多血症、 本 悪性血小板血症)	
	imatinib (IMA) 療法 imatinib 400~800mg/日 (慢性期)400mg1×食後 600mgまで (移行期)600mg1×食後 800mg →※400mgを1日2回まで		連日	経口	連日経口投与	骨髄抑制、悪心・嘔吐、浮腫、皮疹、肝 機能障害	慢性骨髄性白血病	
	ニロチニブ療法 ニロチニブ 1回 400mg 1日2回 食事の1時間以上前又は食後2時間以降 (初発)1回300mg 1日2回		連日	経口	連日経口投与	発疹、頭痛、吐き気、嘔吐、貧血、発熱、 かゆみ、脱毛症、QT延長	慢性期又は移行期の慢性骨髄性白血病	
	ダサチニブ療法 ダサチニブ 70~140mg/回 1日1-2回 (慢性骨髄:慢性期)1回100mg 1日1回 (慢性骨髄:移行・急性期)1回70mg(-90mg)1日2回 (急性リンハ)1回70mg(-90mg) 1日2回		連日	経口	連日経口投与	骨髄抑制、悪心・嘔吐、頭痛、下痢、浮 腫、発疹、肝機能障害	慢性骨髄性白血病・ 再発又は難治性のフィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血 病	
	白血病ベンダムスチン単剤療法 トリアキニン注 100mg/m2/日	60分	DAY1・2		点滴静注DIV	投与期間は4週間を1クール として、4-8コース行う	骨髄抑制、悪心・嘔吐、便秘、下痢 口内炎、肝機能異常、鼻咽頭炎、 味覚異常、頭痛、不眠、クレアチニン上昇 発疹、注射部位反応、	慢性リンパ性白血病
	アナグレリド療法 アグリリンカプセル0.5mg 1回0.5mgを1日2回より開始 増量は1週間以上の間隔をあけて1日用量として 0.5mgずつ行い、1日4回を超えない範囲で 1回用量2.5mgかつ1日用量10mgを超えない		連日	経口	連日経口投与	心障害、QT延長・心室性不整脈、 間質性肺炎、出血、血栓塞栓症、 骨髄抑制、頭痛、呼吸困難、 下痢、肝酵素上昇、末梢性浮腫、疲労	本態性血小板血症	
	イブルチニブ単剤療法 イムブルピカカプセル 420mg/日(140-420mg)		連日	経口	連日経口投与	骨髄抑制、悪心・嘔吐、下痢、疲労 皮膚・爪障害、間質性肺炎、 肝機能障害、出血、不整脈	慢性リンパ性白血病	
	ポストチニブ療法 ボシユリフ錠 初発慢性期の慢性骨髄性白血病:400mg それ以外の場合:500mg 最大600mgまで		連日	経口	連日経口投与	肝機能障害、下痢、骨髄抑制、 体液貯留、心障害、悪心・嘔吐、腹痛、 疲労、食欲減衰	慢性骨髄性白血病	

骨髄異形成症候群	アザシチジン単剤療法 アザシチジン 75mg/m ² /日 1日1回	点滴静注は10分	DAY1-7	原則皮下 点滴静注DIV	7日間投与 その後21日間休業	骨髄抑制・感染症・出血 肺・心臓・肝臓・腎臓障害 低血圧・ショックアナフィラキシー症状 便秘	骨髄異形成症候群
特発性血小板 減少性紫斑病	ITP リツキシマブ単剤療法 リツキシマブ注 375mg/m ² /日		DAY1	点滴静注DIV	週1回 最大投与回数は4回	インフュージョンリアクション、 骨髄抑制、心・肺・肝・腎障害	特発性血小板減少性紫斑病
消化管間質腫瘍	GIST イマチニブ療法 イマチニブ 1日1回 400mg		連日	経口	連日経口投与 1~3年	骨髄抑制、悪心嘔吐、浮腫、皮疹、 肝機能障害	KIT (CD117)陽性消化管間質腫瘍
消化管間質腫瘍	GIST スニチニブ療法 スニチニブ 1日1回 50mg		4週間連日服用その後2週間休業	経口	連日経口投与 PDまで	骨髄抑制、下痢、悪心嘔吐、高血圧、出 血、甲状腺機能障害、手足症候群、肺障	イマチニブ抵抗性消化管間質腫瘍
悪性神経膠腫 (初発の場合)	テモダール療法 テモダール 1回 150mg/m ² 次クールより 1回 200mg/m ² へ増量可	空腹時投与	5日間	経口	5日間投与、23日休業 1コース:28日	骨髄抑制、悪心嘔吐、ニューモシスチス 肺炎等の重篤な感染症等	悪性神経膠腫(放射線療法との併用が原則であるが、患者限定 のプロトコールのため併用はなし。)

他の保険医療機関及び保険薬局からの患者様のレジメン(治療内容)や患者の状況に関する相談及び情報提供等ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

医療法人社団愛友会 津田沼中央総合病院 薬剤科 外来がん化学療法担当薬剤師

〒 275-0026

千葉県習志野市谷津1-9-17
TEL 047-476-5111
FAX 047-476-5184

内線: 外来がん化学療法担当薬剤師